

創流式百七拾年記念

創流寬延參年六月鴻雲齋宗興事嵯峨源氏渡邊元熙傳來 創流二百七拾一年

第九十三回 創美流華道展

第廿六回 いけばな審査會

日時 令和三年三月廿一日(日)午前十時~午後五時

出瓶目録

嵯峨源氏東根渡

渡邊華靖

當流創流は維新の折又 戰中の古文書等の燒失紛失が有る中 正確には不明で有りましたが、當家源融公より數へて四十七代の七之亟源元熙宗興筆の瓶華圖が残されており、こゝに寛延參年（西暦一七五〇年）六月十三日生寫（いきうつすなり）と書かれてゐる所によりて創流元年と定めました。

奇しくも創流百八十年に當る昭和五年に「創美式」を定められてから昨令和二年は創流式百七拾年流名改称九十周年の記念すべき佳節の年で有りましたが、昨春よりの新型病原体の感染拡大によりてすべての記念事業を本年に延期を致しました。しかし乍ら未だに収束の目途は立たずすべてを縮小し乍らの記念事業と成り、式典も五月に豫定してゐましたが再度の延期も余儀無く成りましたが、小さき中でもこの傳統を今後に守傳へて参りたくこの様な社會情勢では有りますが、華道精進に努めてゐます流門人の研鑽の場として記録に残す事から開催をさせて頂きました。

我國は特に平成の御世に移りましてから日本文化が社會家庭とは隔絶した別の場に有りますが如く扱はれてゐる中、我國風の基を出来るだけ華道に留まる事無く傳統の普及傳承活動に努めて活動を續けて参りましたが、この令和の御世に移りまして更に一層努めて行かねばならぬものと考へてゐます。

皆々様の御支援御協力御理解を頂きまして國風を擴げ度御願ひ申し上げ存じます。今回も無観客に近い内々の華會とになりますが、どうぞ御来駕一日の御清遊を頂けますと幸甚に存じます。記念展の開催の御挨拶とさせて頂きます。

主宰 催贊後援
創美流華道會 東久留米市 東京新聞
（株）ミライ工 日舞創舞流

副家元松韻齋五世渡邊華璋
家元嗣脩靜庵六世渡邊鴻月會
萬生子西日本渡邊華闡

西日本
大東電人

準華鑑飯尾灝

日本大學三年

大
席

家元名譽師範
家元後見職松籟庵
家元名譽師範
菅野春祐城
大島奚舟多華中央
西

卷之三

家元參議

家元參議

總
華

華道藝術
渡邊先生雅正

先生雅正
董復

| | | |
|------|------|----------|
| 三 | 一 | 準 |
| | 級 | 會 |
| | 教 | 掌 |
| 級 | 授 | 上田靖卯 埼玉縣 |
| 澤田愛華 | 柳本靜朱 | 東京中央 |
| 東京中央 | | |

準 準 準 華 華 華 鑑 檻口景樹 鴻月會
會 華 華 鑑 古田遙雲 青森縣
頭 前田靜宏 東京中央

茶道脩靜庵添釜奉仕

山口璃子 杉並学院高校二年
高橋琴音 都立小平高校三年
幡野美涼 秋草学園高校二年

石川貴晴 小平市立第七小学校五年
桐木平美沙 東久留米市立第九小学校一年
安田実郷 調布市立第三小学校五年